

# 研究スタッフ

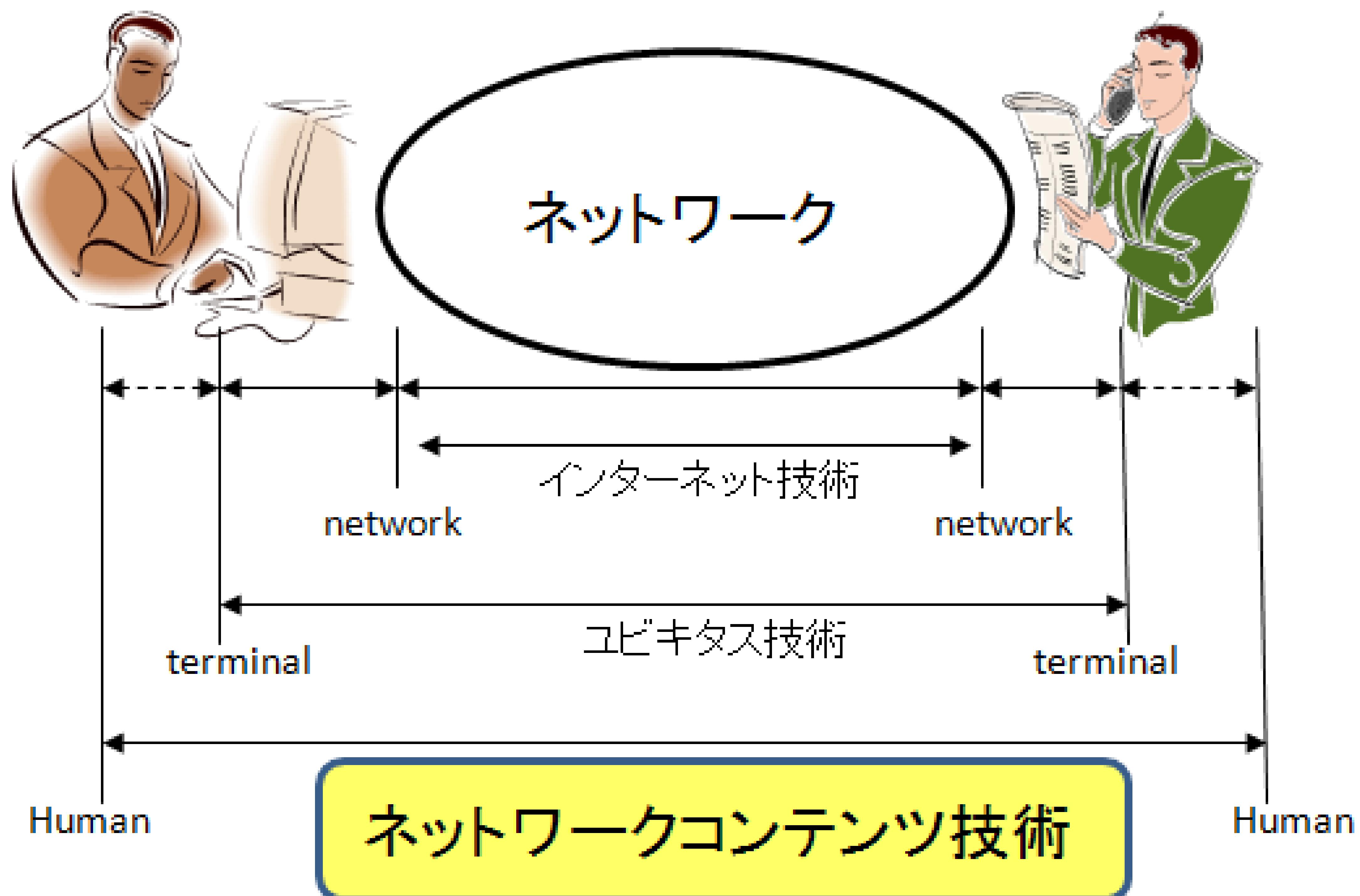
准教授： 青木 輝勝



## 研究目的

当研究室では、デジタルコンテンツのライフサイクル全般に渡る知的処理、特に映像・CG (Computer Graphics)を対象としたコンテンツ創生技術・理解技術・流通技術を中心とした「ネットワークコンテンツ技術の研究開発」に取り組んでいます。東日本大震災以降は特に

「大災害発生時に役立つデジタルコンテンツ技術」  
の実用化研究を大目標に研究開発を進めています。



# 主な研究テーマ

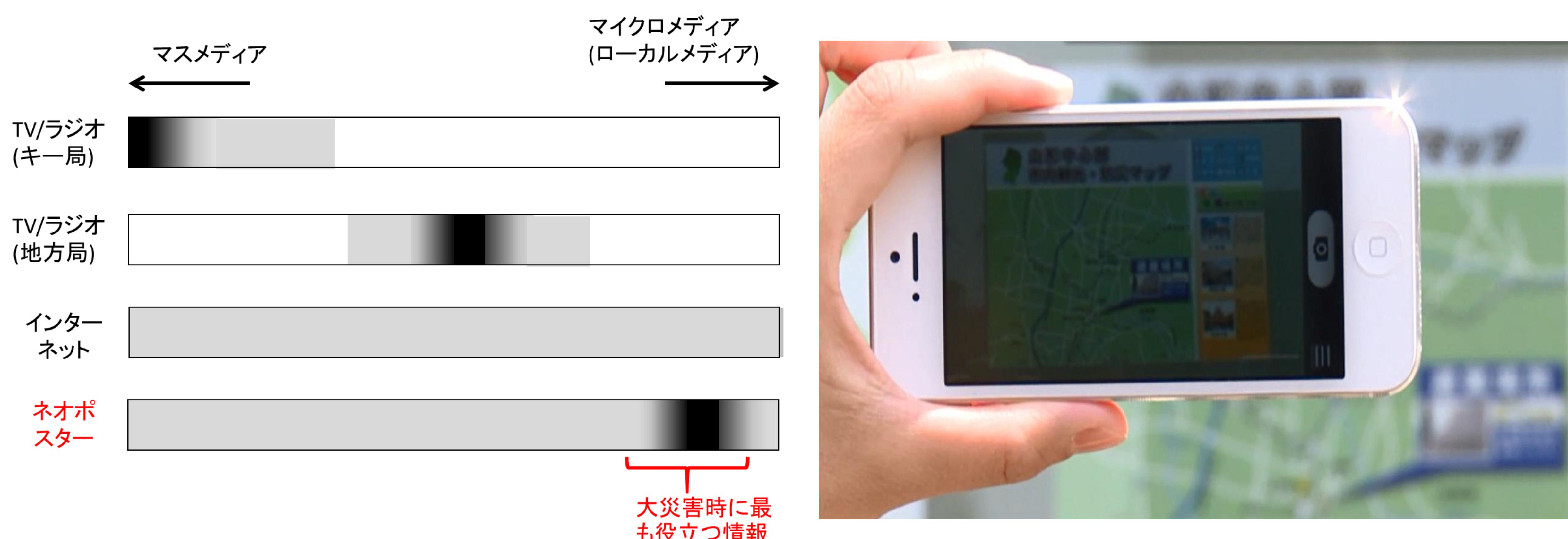
## 1. 大災害発生時・発生後の震災・生活情報伝達手段 - NeoPoster

NeoPoster（ネオポスター）は、街中の行政掲示板・地図などをスマートフォン、タブレット端末で撮影すると、端末上で関連情報・関連動画が瞬時に再生されるシステムです。平時には行政情報を流し、災害時には災害・生活情報を流すことにより、**平時・災害時で完全に同一のシステムが利用できる**ことが大きな特長となっています（詳しくはビデオをご覧ください）。

技術的には、NeoPosterは下記2点の大きな特徴を持っています。

- ・**行政掲示板と端末との距離に非依存。**
- ・**暗やみでの撮影でも高い精度を維持。**

現在 NeoPosterは、総務省・関東総合通信局、調布市、横浜市、流山市、山形市、秋田市をはじめ防災対策に対して先進的な取り組みをされている**多くの地方自治体にて利用が検討されています**。



## 2. NeoPoster技術の応用 - Postouch

NeoPoster技術の応用技術として、Postouch（ポスタッチ）システムを研究開発しています。Postouchは、雑誌紙面上にスマートフォンを移動すると関連動画が瞬時に表示される「**静止画・動画連携サービス**」を実現するものです。

